

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



自治体の概要

人口72.1万人 面積789.95km²

山陽、山陰、四国、近畿、九州を結ぶ結節点に位置し、鉄道、道路などの交通網が集中する中枢拠点都市です。

北は中国山地、南は瀬戸内海に面した肥沃な岡山平野に位置する本市は、瀬戸内海特有の温暖な気候に恵まれ、晴れの日が多いことから「晴れの国おかやま」とも呼ばれています。医療、福祉などの分野で高度な都市機能が集積しており、住みやすい生活環境が整っています。



日本三名園の一つ岡山後楽園と岡山城、日本で4番目の大きさの造山古墳など史跡が豊富です。



白桃、マスクット、ピオーネ等高級フルーツが特産品です。フルーツパフェも人気です！

今後のビジョン・計画

令和2年度中

新規「岡山ESDプロジェクト基本構想」策定

※現行の「岡山ESDプロジェクト2015-2019基本構想」の後継

岡山市の各種計画へSDGsを盛り込んでいます

- 岡山第6次総合計画後期中期計画[R3策定]
主な事務事業について、SDGsの17の目標をマッピング
 - 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)[R3策定]
地域課題解決のための持続可能な取組の項でSDGs及びESDに言及
 - 第2次岡山市環境基本計画
SDGsの要素を踏まえた施策展開
 - 岡山市消費者教育推進計画
SDGsをエシカル消費と関連づけて明記
- ※その他、公民館基本方針、生物多様性地域戦略、岡山連携中枢都市圏ビジョン等にSDGsを盛り込んでいる。

SDGsに関する特徴的な取組

ESDの推進によりSDGsの達成に貢献します

ESD (Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育) はSDGsの全ての目標達成の鍵。社会課題解決を目指した学びと実践、人材の育成など、本市が2005年から取り組んできたESDを一層推進していくことにより、SDGsの達成に取り組んでいます。

2005年 岡山ESD推進協議会設置「岡山ESDプロジェクト」開始
2014年 ESDに関するユネスコ世界会議を本市で開催

2016年 「岡山ESDプロジェクト」がユネスコ/日本ESD賞受賞
2018年 岡山市がユネスコ学習都市賞受賞

都市間連携・産学官連携

■「おかやまSDGsアワード」の実施

岡山県内のSDGs達成に向けた優良事例を顕彰。産官学民が連携した組織により2020年度から実施。

■岡山連携中枢都市圏

岡山連携中枢都市圏を構成する8市5町で住民や行政職員を対象にSDGs、ESDに関する研修を実施。

SDGs未来都市 重点事業の推進

「誰もが健康で学び合い生涯活躍するまちおかやまの推進」をテーマに岡山市の豊富な医療資源を活かした健康づくりの取組を進めています。また、2019年G20岡山保健大臣会合において本市の取組を世界に向けて発信しました。

- 取組内容 ○AIを活用した健康見える化事業 ○OSIB健康ポイント事業「おかやまケンコー大作戦」
- OSIBを活用した生涯活躍就労支援事業

SDGs推進体制を整備

市長、副市長、局長、区長などから構成される「岡山市SDGs推進本部」を設置。また2020年度から従前の「ESD推進課」を「SDGs・ESD推進課」とし、岡山市としてSDGsを積極的に推進していく姿勢を明確に打ち出しました。

SDGs普及・啓発事業

■市民へ啓発イベント、学び合うフォーラムを開催



大型商業施設でSDGsを学ぶ「未来わくわくSDGsフェスタ」を開催



産官学民が学び合い、今後の取組につなげる「SDGsフォーラム」を開催



月に1回、「ESDカフェ」を開催。SDGsの17の目標からテーマを1つ決めた講演と参加者の交流会を実施している。

